

# 《あいち山村振興ビジョン2025の概要》

## 1 あいち山村振興ビジョン2025について

(1) 名称 あいち山村振興ビジョン2025

(2) 計画期間 5年間（2021年度から2025年度）

〔 三河山間地域を取り巻く環境の変化等の状況に応じて、適切に見直しを行うこととする。 〕

## 2 現行ビジョン策定後の変化と山村振興ビジョン2025策定の趣旨

あいち山村振興ビジョン2020では「愛知の元気の源・豊かな山の暮らしの実現」を目標として、就業者や移住者、観光交流人口の増加など一定の成果を上げた。

しかしながら、この間、人口減少・高齢化が進み、2025年には一層の人口減少、高齢化が進むことが見込まれている。

一方で、設楽ダム、リニア中央新幹線など、三河山間地域に大きな影響を与えるビッグプロジェクトやリモートワークを通じた働き方の変化や新しい人の動きも出ている。

そこで、現行の「あいち山村振興ビジョン2020」の取組・成果を引き継ぎながら、これらの三河山間地域を取り巻く環境変化に柔軟に対応するため、2025年度までの5年間の計画期間とする「あいち山村振興ビジョン2025」を策定する。

今回の「あいち山村振興ビジョン2025」に基づき、様々な施策を実施することで、2025年の三河山間地域の人口推計値（95,105人）を少しでも上回るように、取り組んでいく。

## 3 2025年頃の三河山間地域の将来展望

災害・感染症リスクの増大や持続可能な行財政基盤の確立・運営

- ・南海トラフ地震や台風・豪雨等災害対応への必要性の高まり
- ・普通交付税の合併算定替適用期間の終了や自治体職員の人材獲得競争の激化

一層の高齢化・高齢者単身世帯の増加

- ・高齢化による身体機能の低下による医療・介護や公共交通の需要増加
- ・空き家・空き地の増加

一層の少子化・若者の減少

- ・少子高齢化に伴う後継者不足による廃業の増加
- ・伝統芸能や消防団等の地域の担い手不足

ビッグプロジェクトの進展

- ・地域に大きな影響を及ぼす設楽ダム、リニア中央新幹線による人の動きの変化

リモートワーク等の普及

- ・デジタル技術等の急速な進展によるテレワークやワーケーションの普及
- ・新型コロナウイルス感染症を契機とした、田舎暮らしへの関心の高まり

## 4 基本目標

環境変化に柔軟に対応する元気で豊かなあいちの山里  
～安全安心な生活と活力の維持向上～

## 5 取組の視点

- (1) 道路、公共交通、情報通信などの社会基盤の整備や森林・農地の維持保全に引き続き取り組み、災害などにも対応した**安全安心に住み続けられる地域**を目指す。
- (2) 関係人口の創出・拡大や就業支援などにより、新たな人の動きを活かし、**活力が維持できる地域**とすることで、**住みたくなる地域**を目指し、**交流・定住**を促進する。
- (3) 三河山間地域に大きな影響を与えるビッグプロジェクトの進展による人の動きや名古屋圏などの大都市圏に近接する全国的にもめずらしい特性を活かし、**地域経済を循環させ発展**につなげる。
- (4) 三河山間地域は、森林のCO<sub>2</sub>吸収機能など多面的機能をもつことから、国連が掲げるSDGsの理念を踏まえ、環境・経済・社会の調和のとれた持続可能な地域づくりに向けて重要な役割を果たしていく。

## 6 重点的取組事項

### (1) 5つの取組の柱

#### ① 安全安心で持続可能な地域社会づくり

##### 取組の方向

- ◆ 生活に欠かせない道路網の整備・バス路線の確保を始め、情報通信基盤の拡充、森林・農地等の保全・整備、保健医療福祉サービスなどの生活基盤の維持・拡充を行う。
- ◆ 新型コロナウイルスを始めとした感染症や南海トラフ地震、気候変動の影響により大型化した台風、大雨等の影響による災害への対応の充実に図る。
- ◆ それぞれの市町村（地域）だけでなく、広域的に取り組むことで、将来にわたって安全安心に暮らせる地域社会を目指す。

#### ② 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成

##### 取組の方向

- ◆ 高齢化による地域の担い手不足が進む中で、首都圏等都市部在住者の地方への関心が高まっている状況を活かし、都市部在住者の移住や関係人口の創出・拡大により、都市との絆を深める。
- ◆ 地域に根差した教育環境を整備することで、将来的な地域の担い手を育成する。

### ③ なりわいを育てる

#### 取組の方向

- ◆ 高齢化による廃業が進むことによる地域経済の縮小を防ぐため、事業承継や移住者による継業を推進するとともに、UIJターンをされた方の定住を支援する。
- ◆ 地場産業である農林水産業等の担い手の確保や、地域に必要な「なりわい」の担い手を育てる。

### ④ 地域資源のさらなる磨き上げ

#### 取組の方向

- ◆ リニア中央新幹線の開業、三遠南信自動車道の全線開通や設楽ダム完成を見据え、地域に数ある道の駅を核とし、県や市町村の境界を越えた広域観光ネットワークを構築する。
- ◆ 歴史、産業、自然、文化、スポーツなど、それぞれの地域に根差した地域資源をテーマごとに深掘りした上で、広域的な連携に取り組む。
- ◆ 旅行者の誘客強化に向けて、人材育成や多言語表記など受入体制の拡充を図る。

### ⑤ 新たなライフスタイルへの対応

#### 取組の方向

- ◆ 新型コロナウイルス感染症を契機とした新しい生活様式への対応により注目されている、テレワークやワーケーションの促進を図る。
- ◆ 新たなモビリティサービスの導入やドローンを活用した物流促進など、新しい技術を活用することで、これまでにない山間地域での暮らしのあり方を確立する。

### (2) 主な進捗管理指標

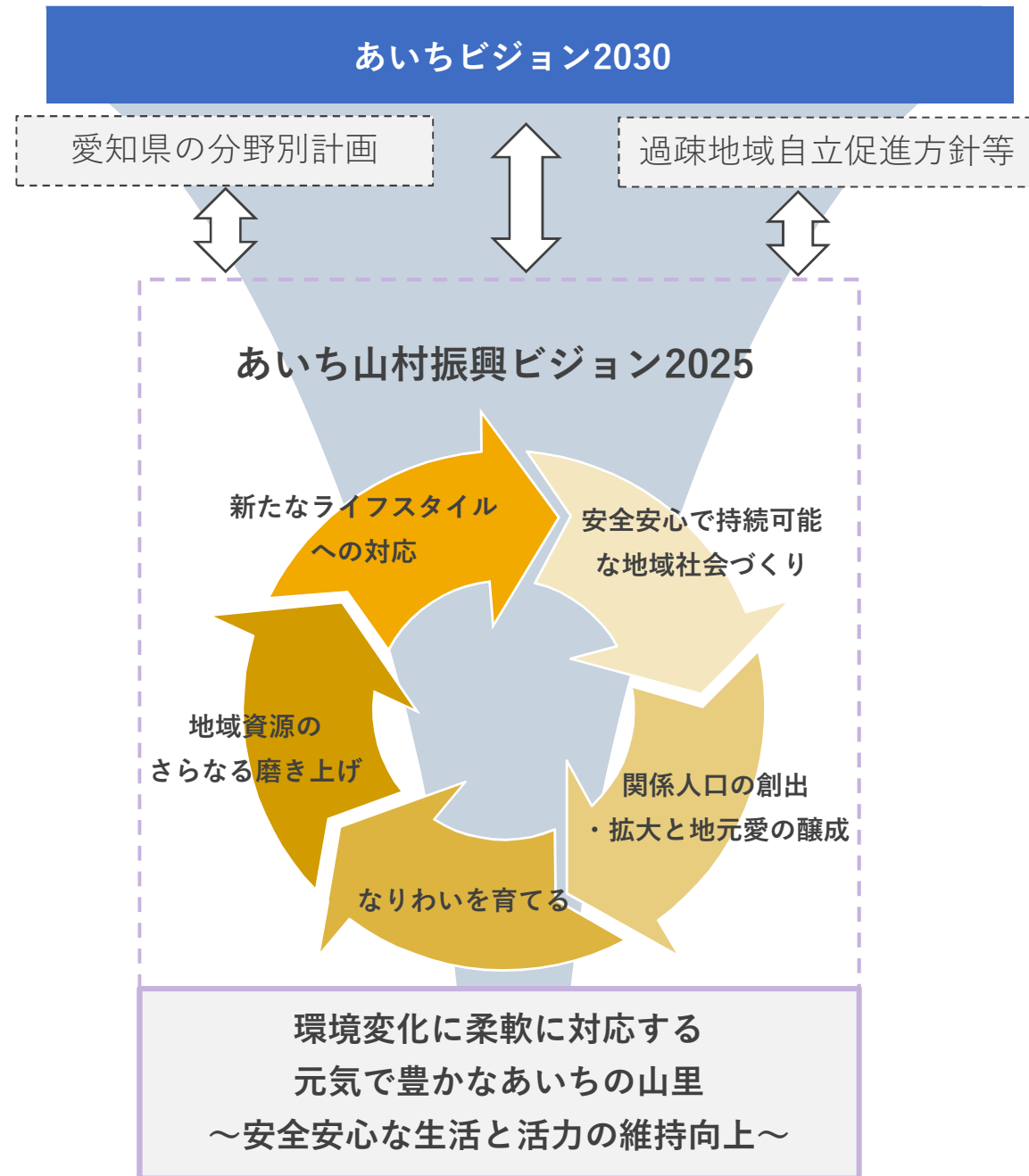
- ◆ 5つの取組の柱ごとに、分かりやすい「進捗管理指標」を設定し、成果を評価することとする。
- ◆ それぞれの柱ごとに3項目程度を「進捗管理指標」とする。
- ◆ これにより、目標ができ効率的な取組となるとともに、未達成を把握することができる。

5つの取組の柱	主な進捗管理指標
安全安心で持続可能な地域社会づくり	公共交通の主な改善件数
	道路供用延長、森林・農地の保全整備面積
関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成	外部人材の交流支援数
なりわいを育てる	就業支援者数
	サテライトオフィス整備支援数
地域資源のさらなる磨き上げ	観光レクリエーション利用者数
新たなライフスタイルへの対応	主なりモートワーク可能施設数

### (3) SDGsとの関連

5つの取組の柱	SDGsのグローバル目標
安全安心で持続可能な地域社会づくり	
関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成	
なりわいを育てる	
地域資源のさらなる磨き上げ	
新たなライフスタイルへの対応	

### 7 あいち山村振興ビジョン2025が目指す三河山間地域のイメージ



### ① 安全安心で持続可能な地域社会づくり

◎新型コロナウイルス感染症を始めとした感染症への備え【新規】

◎持続可能な行財政基盤の確立【新規】

◎地域の実情にあった公共交通の維持・確保への支援【新規】

◎社会資本整備等に対する支援【新規】

○5Gへの対応を含む情報通信基盤の拡充・活用

○大規模災害への備え

○広域交通基盤の整備・強化

○森林・農地等の保全・整備

○鳥獣害対策の推進

○子育て支援の充実や教育環境の整備

○住民の生活を支える質の高い医療を受けられる体制の確保

○女性の活躍促進

#### 【進捗管理指標】

- ・公共交通の主な改善件数
- ・道路供用延長
- ・森林の保全整備面積
- ・農地の保全整備面積
- ・三河山間地域の人口

### ② 関係人口の創出・拡大と地元愛の醸成

○外部人材を受け入れることができる地域づくり

◎首都圏等での移住相談窓口機能の設置【新規】

○オンラインでの情報発信手法の強化・充実

○将来的な地域の担い手・関係人口づくり

○県立高等学校の魅力化

#### 【進捗管理指標】

- ・外部人材の交流支援数
- ・移住者数
- ・移住相談者数
- ・地域協働を行う県立高校数

### ③ なりわいを育てる

◎なりわいを生み出す拠点（サテライトオフィス）の設置【新規】

◎既存組織との連携によるなりわい支援の仕組づくり【新規】

○農林水産業の担い手確保・育成

○農林水産業の競争力向上

○地域を超えた人材のネットワーク化

○地域産業の事業支援や円滑な事業承継

#### 【進捗管理指標】

- ・就業支援者数
- ・新規就農者数
- ・新規林業就業者数
- ・サテライトオフィス整備支援数

### ④ 地域資源のさらなる磨き上げ

◎人やストーリーに着目した情報発信方法の強化・充実【新規】

○市町村境・県境を越えた連携・周遊の促進

○地域資源の着地型観光プログラム化の推進

○伝統文化の継承・発信

○愛知産ジビエ等の利用推進

○地域に密着したスポーツの

普及・支援の推進

○自然環境・生物多様性の保全・利用の推進

#### 【進捗管理指標】

- ・観光レクリエーション利用者数
- ・愛知産ジビエを活用した新商品数
- ・スポーツ大会数

### ⑤ 新たなライフスタイルへの対応

◎テレワークやワーケーションの促進・誘致【新規】

◎空き家・空き地の流通促進【新規】

○新たなモビリティサービスやドローンなどの新技術の導入支援

#### 【進捗管理指標】

- ・主なリモートワーク可能施設数
- ・リモートワーク実証実験数
- ・空き家・空き地調査件数



## 9 地域別の方向性

三河山間地域全体を一律に捉えるのではなく、都市部への距離、地域特性、自然環境、各市町村におけるまちづくり戦略を考慮し、地域別の視点を導入してきめ細やかな分析・対応を行う。

### 額田地域

岡崎市中心部を始めとする産業の活力を地域経済や暮らしの豊かさに波及させながら、新東名高速道路の岡崎東ICを活用したアクセス性の向上による都市部との結びつきの強化を活かす施策を展開する。

### 豊田加茂地域

山間地域に暮らしながら都市的サービスが享受できるなど、都市部との近接性を活かした二地域居住（都市と地方部の2つに拠点を持つ暮らし方）やUIJターン促進を行うとともに、リニア中央新幹線開業による新しい人の流れを取り込む施策を展開する。

### 新城地域

三遠南信自動車道の鳳来峡ICや新東名高速道路の新城ICに加え、新たに東名高速道路に計画されているスマートICなど、交通ネットワークの拡充や道の駅を核とした広域観光ネットワークを活かした施策を展開する。

### 北設楽地域

豊かな自然や文化の中での田舎暮らしの良さを活かしつつ、事業承継や地域資源を活用した起業支援を行うとともに、リニア中央新幹線開業や三遠南信自動車道全線開通を見据えた他県や県内市町村との連携を含む広域的施策を展開する。

